

□検討スケジュールについての委員からの意見

○岡田委員からの意見

今後の委員会開催と運営の仕方についての要望と提案

2006-8-28

岡田憲夫

基本的に實委員の問題提起と提案に賛成である。

委員会開催と運営の具体的・技術論的考え方について、實委員と重複する部分も含めて、私の要望と意見を箇条書きにする。

1. 委員会の開催の主たる目的・機能の違いを明記し、それに即したメリハリと効果的な開催の仕方を可能な範囲で工夫してほしい。
 - a. 情報提供・交換・共有と意見聴取を目的とした会議
 - b. 意見の集約と審議・決議を目的とした会議

こししばらく毎週のように頻繁に開催することが提案されているが、当初は概ね a 型を目的として実施されるのではないかと推察する。そうであれば、多くの委員が月に最低一度の出席ができれば、上記の目的が概略達成できるような配慮をお願いしたい。たとえば連続する二回の a 型の会議では、事務局の情報提供・説明が同一内容を部分的にしる繰り返す復習方式をとるといふ考え方は取りえないか。また当該委員会の開催の冒頭に、前回の委員会の欠席者から意見の聴取の機会や質問を受け付ける機会を提供するというルールを試行するというのはどうであろうか(下記の 2 の ii)に関わるような事項)、検討いただければ有難い。

2. それでも不可避免的に欠席せざるを得ない場合に、その委員から意見等の書面による聴取を可能にする方策や、そのような欠席委員の意見を審議へ反映させる仕方やその有効性の範囲について明確なルールを定めてほしい。その際、以下のような区別が必要であろう。
 - i) 委員会の開催の事前の聴取の機会の提供と仕方
この目的のためには、案内召集される当該委員会の目的と、そこで事前に予習できるための資料の提供が不可欠である。
 - ii) 委員会の開催の事後の聴取の機会の提供と仕方

○實委員からの意見

委員会についての私見

委員 實 馨

8月26日お問い合わせがありました件、以下(1)～(7)のように考えております。29日の委員会には欠席しますので、よろしくご検討下さいますようお願い申し上げます。

(1) 先日、運営会議があたかも日程を独断決定したような出欠調査のメールと第87回運営会議結果報告(確定版)を受け取りましたので、クレームをつけさせていただきました。運営会議は、日程及び議事内容の「案」を作成する機能であると思いますので、その点でまず疑問を呈した次第です。第58回(8/29)から第63回(9/26)まで会議の回数番号までつけての出欠伺いをする前に、ワンステップ(回数番号をつけない状態で委員に出欠の可否を尋ね、それから番号付け(正式日程化)すること)が必要だと存じた次第です。

(2) 河川管理者からの説明に15時間要するので9月に5回もの回数に設定した、とのことですが、それについて理解できないわけではありません。出欠の可否についてのアンケートの結果は8月24日中に集まっているはずなので、それに基づいて9月の会議を2～3回行われたら良いと思います。私は、9月11日のみ出席できますので、その日は是非開催してください(これは個人的希望です)。

(3) 10月以後はひと月内の開催が4回以上になることも8月29日の出席委員が多数同意するのなら、私も同意します。8月下旬に9月の5回の会議のことを「あたかも決まったかのように、かつ、急に」問われたのでクレームをつけましたが、10月より先の開催頻度についての委員会の多数による合意の下に10月以後週1回位のペースで行われることは、問題としません。

(4) 9月に2～3回だけでは、時間が足りないということであれば、9月に整備計画全体の審議を一気に行うのではなく、前半の「切りの良い」ところまでやって、後半を10月に頻度を上げてやるというような柔軟な考え方もあり得ましょう。

(5) 9月に全体委員会は2回にして、各章ごとに部会を個別にやって検討を予めしておく、という手もあるかと思えます。その場合には、河川管理者から説明してもらうのは2度手間ですし、説明なしで勉強会をし、全体会議での説明時に向けての質問事項の整理の部会作業になるかと思えます。この案は、かえって非効率かも知れません。少なくとも私は、設定された5日(8/29～9/26)の以外に部会やWGがあったとしても、出席できない可能性が高いです。

(6) 12月までに成果を求められていることについては、それが住民のためでもあり(整備計画が1日も早く策定され、早期に整備がなされる方がよい、という意味で)、努力目標として堅持すべきと存じます。

(7) 8月29日あるいは9月の第1回目の運営会議までの間に全委員の10月～12月の日程を調査されることを提案します。その際、土曜日、日曜日も排除しないで候補日としたらどうでしょうか。委員全員が合意され、事務局及び河川管理者も合意されるなら、土曜日、日曜日でも委員会を開催してもいいのではないかと、思っております。(12月という縛りがあり、それに合意して委員として参加しているのですから少々の無理は覚悟します。)その調査結果に基づいて、10月以後の委員会日程(案)を運営会議で作成し、8月29日あるいは9月の第1回の委員会で審議されたら如何でしょうか。

以上

○西野委員からの意見

1. 委員会の開催についてですが、できるだけ出席すべく努力はしますが、現状では月4回(週1回)の頻度で委員会が開催された場合、すべての委員会に出席するのは、ほぼ不可能です。
2. 原案の説明について、ひと通りは委員会を開催して説明していただく必要があるとは思いますが、どうしても出席できない委員については、欠席した委員会の資料をできるだけ早く送っていただき、個々に資料を読むことで対応するしかないと思います。そのことで、委員間に情報量の格差が生じ、その後の委員会の審議が行きつ戻りつする可能性があります。実際、これまでも、一度欠席すると、次の委員会で審議についていけない状況になることもしばしばでした。しかし、全員の都合を聞いて委員会を開催しては、審議を進める上で支障が出ますので、これはやむをえないと思います。
3. 希望ですが、何時の委員会では何を説明されるのかを、できるだけ早く知らせて頂きたい。また委員会の日程についても、できるだけ早くお知らせいただくと、日程調整がしやすくなります。